

令和3年度自動運転車開発拠点化促進事業委託業務

目的

自動運転を核とした実証試験の活性化、研究開発拠点の新增設による一層の集積に向け、自動運転サービスモデル創出に向けた情報提供の強化などに取り組むことにより、積雪寒冷地に対応した実証試験場や道内での実証試験の誘致のより一層の推進、自動運転の開発拠点化を図ることを目的とする。

予算額

10,000千円 ※電源立地地域交付金、その他直営事業の経費含む

①展示会出展

ワンストップ相談窓口による支援や、これまでデータベース化を進めてきた実証試験の適地情報などについて、ブース出展を行い、企業等に向けてPRを実施する。

- 展示会：第4回 [名古屋] 自動運転EXPO
- 会 期：2021年10月27日(水)～29日(金)
- 会 場：ポートメッセなごや

②現地視察会 【新規】

自動運転分野への理解を深めるとともに、自治体や企業による自動運転の取組をより一層加速させるため、道内自治体や企業を対象に、自動運転の現場を視察する。

- 視察先：秋田県上小阿仁（かみこあに）村 ※予定
- 日 程：2022年1月頃開催
1日目@上小阿仁村、2日目@東京

③積雪寒冷対応システム検討会の開催

道が令和2年度に実施した積雪寒冷対応システム検討会の議論などを踏まえ、冬期も含む通年での自動運転の実用化に向け、更なる議論が必要なテーマを選定の上、専門家や企業関係者等と議論を行うための検討会を開催する。

- 検討テーマ：①冬期事象データを収めたオープンデータプラットフォームの開発
（案）：②センサー部への着雪・着氷など冬期事象のシミュレーション技術の開発
- 日 程 等：2021年9月～2022年2月までの間で4回程度開催
（最後の第4回目は書面開催予定）

